

平成 25 年 6 月 20 日

国土交通大臣 殿

地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称: たじまだら家(ke)

グループの名称: 但馬木造住宅振興協議会

平成24年度
採択グループ番号:

(平成25年度新規グループは、採択グループ番号は必要ありません)

(グループ代表者)

代表者名: 田中 秀雄 代表者印

代表者所属先: 株式会社 田中工務店

代表者構成員番号: VI-3

代表者住所: 兵庫県朝来市和田山町柳原188

電話番号: 0796722619

(グループ事務局)

事務局事業者名: 株式会社 田中工務店

事務局構成員番号: VI-3

事務局担当者名: 水上 健治 印

事務局郵便番号: 669-5212

事務局住所: 兵庫県朝来市和田山町柳原188

事務局電話番号: 0796722619

事務局FAX: 0796723207

事務局担当者E-mail: mizukami-k@tanaka-net.jp

※ 平成24年度採択グループは、平成24年度に提出された適用申請書から変更点がある場合、その変更点がかかるように(文字の色を変更する、下線を引く等)記載して下さい。

■他の様式にリンクしますので、全て正確に記載してください。

1. 地域型住宅の名称(必須)	たじまだら家(ke)		
2. グループの名称(必須)	但馬木造住宅振興協議会		
3. 地域型住宅供給対象地域(必須)	兵庫県		
4. 結成年月(必須)	平成9年3月		
5. グループ代表者名(必須)	田中 秀雄		
6. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 田中工務店		
7. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-3		
8. グループ代表者所在地(必須)	兵庫県朝来市和田山町柳原188		
9. グループ代表者電話番号(必須)	0796722619		
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 田中工務店		
11. グループ事務局の構成員番号(必須)	VI-3		
12. グループ事務局担当者名(必須)	水上 健治		
13. グループ事務局郵便番号(必須)	669-5212		
14. グループ事務局所在地(必須)	兵庫県朝来市和田山町柳原188		
15. グループ事務局電話番号(必須)	0796722619		
16. グループ事務局FAX番号(必須)	0796723207		
17. グループ事務局担当者E-mail(必須)	mizukami-k@tanaka-net.jp		
(構成員数) ※様式2-2の各シートからリンクする為、入力はありません。			
I. 原木供給	8	/	
II. 製材・集成材製造・合板製造	2		
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	4		
IV. プレカット	2		
V. 設計	3		
VI. 施工	12		
VII. 木材を扱わない流通			
VIII. I～VII以外の業種			
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
	兵庫県産材	兵庫県	兵庫県産木材証明制度
	兵庫県産材	兵庫県	ひょうご県産木材認証制度
	合法木材	国内・国外	合法木材証明制度
B. 平成25年度における地域型住宅の供給予定戸数等 (必須)	地域型住宅の供給予定戸数	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	うち長期優良住宅 50 戸	20 戸	地域型住宅の供給予定戸数は、昨年と同数程度を予定戸数としました。うち長期優良住宅は、取り組みの少ない構成員や未経験の構成員の方が供給戸数を増やしていただける等を考慮して、昨年の実績に4割増し(5戸)程度の増加を設定しました。
	地域型住宅による地域材使用予定	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	うち長期優良住宅分 500 m ³	200 m ³	地域型住宅には主要構造部に過半以上の地域材を使用する事としていることから、予定戸数から地域材使用量を設定しました。
C. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	「地域型住宅ブランド化事業」の参加希望施工業者の全社に一戸を割り当てて、長期優良住宅の施工戸数の少ない施工業者を優先し、また受注の見込みの高い物件のある業者を次点にする事を		
D. 平成24年度の執行状況 (H24年度採択グループのみ必須)	採択戸数 注4	交付決定件数	完了実績見込み
	戸	戸	竣工済 竣工予定 戸 戸

注1)代表者の所属先及び事務局事業者名は略さず正式名で記載してください。例:株式会社〇(株)×

注2)郵便番号は、ハイフンありで半角入力 例:123-4567

注3)電話番号・FAXは、ハイフンなしで半角入力 例:0123456789

注4)採択戸数は最終的な配分戸数を記入して下さい。

<グループ構成員記入用リスト> VI. 施工

注1		注2			注3		注4				注5		
県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	平成24年(1月～12月)実績				補助金の活用実績	被災地に該当	
VI. 施工 (元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5～10事業者程度以上)						構成員数: 12		元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		○	○
								H24年実績	直近3年平均	H24年実績	直近3年平均		
28	VI-1	高柴商事株式会社		667-0113	養父市葦崎1051	0796641211	19戸	15戸	10戸	8戸	○		
28	VI-2	株式会社くまだ建工社		667-0102	養父市十二所316	0796640076	10戸	10戸	2戸	2戸	○		
28	VI-3	株式会社田中工務店		669-5212	朝来市和田山町柳原188	0796722619	4戸	4戸	0戸	1戸	○		
28	VI-4	株式会社共栄建設工業		669-5341	豊岡市日高町国分寺254	0796423131	3戸	3戸	0戸	1戸	○		
28	VI-5	有限会社建房オキト		668-0045	豊岡市城南町16-22	0796243516	3戸	2戸	0戸	0戸			
28	VI-6	株式会社アイテック西岡		667-1334	美方郡香美町村岡区福岡1073-6	0796960874	2戸	7戸	0戸	1戸	○		
28	VI-7	株式会社西村工務店		667-1334	美方郡香美町村岡区福岡17	0796961136	2戸	2戸	1戸	2戸	○		
28	VI-8	株式会社谷垣		658-0011	神戸市東灘区森南町1-7-7	0784110623	2戸	1戸	1戸	1戸	○		
28	VI-9	有限会社大木本建設		668-0015	豊岡市一日市166-2	0796231015	1戸	1戸	0戸	0戸			
28	VI-10	株式会社アート・エーエム		667-0306	養父市大屋町宮垣711	0796691509	1戸	1戸	0戸	0戸			
28	VI-11	株式会社日林マテリアル		679-3431	朝来市新井777	0796770773	1戸	1戸	0戸	0戸			
28	VI-12	スケール株式会社		669-5221	朝来市和田山町秋葉台4-41	0796702155	0戸	1戸	0戸	0戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			
	VI-						戸	戸	戸	戸			

- 注1) 県番号は、県番号のワークシートを参照してください。
- 注2) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例:000-0000)
- 注3) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例:00000000000)
- 注4) 過去に地域型住宅ブランド化事業や木のいえ整備促進事業等、長期優良住宅の整備に対する補助を受けたことがある場合は○を付けて下さい。
- 注5) ※「被災地」については、「施工」の事業者の主たる事業所(本店)が、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく「特定被災区域」に存する場合、○を付けて下さい。
参照:内閣府HP(<http://www.bousai.go.jp/2011jyosei-tokutei.html>)
- ※) 業種(I、II...)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、VI. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。
- ※) VI. 施工については、所在地は本社の情報、戸数については支社や営業所等を含む会社全体の戸数を記入してください。また、「直近3年平均」とは平成22年から24年の3カ年における1年当たりの平均を記載して下さい。
- ※) 業種(I、II...)毎に、平成24年(1月～12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。
- ※) I～VII以外の業種の構成員がある場合は、VIII以降に記載してください。
- ※) 行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。
- ※) <様式4>適用申請書記載事項確認書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、(株)や(有)等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) たじまだら家(ke)	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 但馬木造住宅振興協議会	(結成年月) 平成9年3月
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 - 0 - 0	注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ア. 特徴あるブランド化の目標設定 (必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a.</p> <p>地域型住宅「たじまだら家(ke)」の取り組み 県内、北部は多雪地域である。杉・桧の人工林がおよそ7300万㎡ある。 そこで、次の取り組みを行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積雪に対して丈夫な構造とする。 (例)可能な範囲で、当会作成のSPAN表(エクセル版)を使用して部材メンバーを決める (この時の仕口形状は、実際に加工可能な形状とする) ・グループで指定する地域材を主要構造部の50%以上使用する。 ・地盤調査の義務付けをする。 ・住宅履歴情報蓄積の義務付けをする。 		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記を踏まえた地域型住宅の特徴等(性能や地域性等)における共通ルール (任意)	敷地に適した地盤調査、地盤改良の選定、実施	地盤調査報告書、地盤改良施工報告書を事務局に提出する
	地域材をより多く使用した住宅造りに取り組む	納品書、出荷証明書等を事務局に提出する(グループ内構造見学会で確認する)
イ. 効率的で持続性のある住宅生産体制の整備 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a.</p> <p>グループの標準仕様やコストダウンに向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で巾を持たせた標準仕様の作成 ・標準仕様に基づく合理化(コストを下げる)に取り組む 結成から現在に至る「但馬木造住宅振興協議会」の良さを残し、継続的に無理のない標準仕様とする。 		
<p>b.</p> <p>グループの信頼向上に資する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者機関の検査(基礎、木造構造体、屋根、完成)を受ける (書面の発行) ・一般公開の現場(構造)見学会を開催する (予約制) ・住宅無料相談会を受付ける (予約制) 		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記の住宅生産の合理化・効率化に資する取組、安定供給の長期維持体制、グループの信頼向上に資する取組における共通ルール(任意)	運営委員会(標準仕様部会)の設置 「たじまだら家(ke)」の商品化を目指す	当面、該当なし (運営委員会で確認方法を定める)
	運営委員会(合理化部会)の設置 グループで市場調査やグループ交渉などに取り組む	当面、該当なし (運営委員会で確認方法を定める)

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整し、<様式3-1>は2枚以内として下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) たじまだら家(ke)	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 但馬木造住宅振興協議会	(結成年月) 平成9年3月
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 - 0 - 0	注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a.</p> <p>地域型住宅の長寿命化に向けて住宅履歴情報の蓄積、グループとしての点検内容・診断基準の設定を行い、すまい手の安心と信頼の獲得を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅履歴情報蓄積の義務化と運営委員会(住宅履歴情報活用部会)の設置 ・グループ共通の維持保全計画書の作成と活用及び、メンテナンス実施時期の明文化(1年・3年・10年・20年・30年) ・メンテナンス実施に関する報告書の提出(すまい手に原本、事務局に写しの提出) ・すまい手による「住宅のお手入れマニュアル」の作成と一般消費者を対象にした住宅相談会の実施 		
<p>b.</p> <p>施工業者の廃業や業態の変化に対する対応として、施工事業者の選定、信頼の確保に対してグループとして以下の取り組みを行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工グループ各社が契約している保険会社の工事完成補償への加入を促す ・事務局内に「すまい手相談窓口」の設置する ・完成住宅に事務局から「たじまだら家(Ke)」認定書の発行(連絡先を明記する) ・万が一、瑕疵が発生した場合の対応の手引きを作成し、住宅の引渡し時に「重要事項説明」としての説明を義務付ける ・補助金の受け渡しに関する証明書を作成し、受け渡し完了後 証明書の写しをグループ事務局に提出 		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの長期にわたる住宅維持管理体制における共通ルール (任意)	グループ共通の維持保全計画書を使用し、点検方法、診断基準に準じたメンテナンスの実施と報告の義務化	維持保全計画書の写しの提出とメンテナンス実施報告書の提出
住宅履歴情報の保存方法 (任意)	契約時、住宅履歴サービスに登録し、住宅履歴情報の蓄積の義務化	住宅履歴情報サービスが発行する、住宅履歴情報の預かり証の写しの提出
エ. グループの技術力の向上 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a.</p> <p>地域型住宅に必要な、長期優良住宅認定・住宅性能評価の取得において、未経験の構成員が含まれている。その対応として設計グループ、施工グループ構成員を中心とした運営委員会(研修部会)を設置して技術的なサポートや仕様説明会、設計・施工に関する勉強会等の計画を立て実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工グループの内、長期優良住宅の経験メンバーを中心にして、実際の施工現場での施工現場勉強会の実施(2回程度) ・未経験の構成員に対する勉強会(座談会形式)の実施(事業開始後すぐに実施、必要に応じて追加実施) ・運営委員会(研修部会)主催の長期優良住宅仕様説明会や申請要領説明会の実施(1回:必要に応じて追加実施) ・運営委員会(研修部会)主催の長期優良住宅・設計性能評価研修会の実施(2回) 		
<p>b.</p> <p>兵庫県但馬地方には、地域特有の骨太の古民家が残っています。この古材に対する愛着と味わいを重視する消費者や技術者がいます。古材の再利用拡大に向けた勉強会を実施して、材種、寸法、品質、強度、再利用に適した使用方法などを勉強します</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの技術力の向上における共通ルール (任意)	施工現場勉強会、座談会勉強会、運営委員会(研修部会)主催の地域型長期優良住宅の仕様説明会、長期優良住宅・設計性能評価研修会の参加の義務付け	事務局は勉強会・研修会の参加状況の管理し、受講証を発行する。また参加が不足している構成員への参加の呼びかけをする

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) たじまだら家(ke)	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 但馬木造住宅振興協議会	(結成年月) 平成9年3月
3. 平成24年度のグループ番号(必須)	0 - 0 - 0	注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
オ. 地域産業の活性化(a、必須)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
a.		
地域型住宅「たじまだら家(ke)」は地域材の選定に次のように考える 県内の人工林の内、杉材を主要構造部に使用するにあたり 平成22年から24年 高信頼性横架材の開発に取り組み、仕口のめり込み難い加工形状を研究しました その結果、杉材でも強度を発揮する仕口形状を開発し横架材として安心して使えることが解かりました。 主要構造部の使用樹種は、土台(桧)、柱・梁・桁(杉・桧)、使用量は50%以上とする		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造部(土台、柱、梁、桁)をグループで指定する地域材を50%以上使用する 柱は4寸角以上を使用する	事務局に主要構造部の全ての納品書、出荷証明書の提出 その内、地域材を使用した証明書
b.		
【グループ内の地域材情報の共有】 連絡用のEメールを活用して、地域材の供給グループ(原木供給・製材・集成材・合板・流通)から、地域材の出荷状況等の情報を提供してもらい全構成員が情報共有できる体制づくりに取り組む		
c.		
【伝統的素材(瓦・畳・襖等)の積極的な活用】 たじまの地域に似合う木造住宅造りに取り組む目的で集まったグループ構成員です。 伝統和風住宅から、最近の和モダン住宅まで、さまざまな要望に応じていますが、欠かせない伝統的素材(瓦・畳・襖等)を使用した住宅造りを取り組みます		
d.		
【地域の街並み・景観ガイドライン等の内容に沿う為の取り組み】 地域は広く、地域内には幾つかの街並み保存地区がありますが、その地区毎に各構成員が取り組んでいますが、グループとしての取り組みはしていません。 具体的な取り組みは、該当なし		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材情報の共有、地場産業等の積極的な活用、街並みガイドライン等に関する共通ルール(任意)	情報共有や伝統的素材の積極的な活用は、標準仕様部会・合理化部会で「たじまだら家(ke)」らしい方法と建材購入方法などに取り組みます。	当面、該当なし (運営委員会で確認方法を定める)
その他(任意)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
【補足】 ・一部、施工グループの構成員においては、大工が墨付け・刻みの加工を行う為、製材所から直接購入する場合があります。 ・一部、流通グループを介さずに、地域材の調達を行う場合があります。(一部のプレカットを使用する場合) ・合法木材の一部においては、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者の特定が困難な場合が多々おこる。 この為、製材・集成材・合板グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する ・「運営委員会」について、下記の部会を設置する。 標準仕様部会 標準仕様を検討して、「たじまだら家(ke)」の商品化を目指す 合理化部会 グループで市場調査やグループ交渉などを検討して良質な商品や適正価格(コスト管理)をする 住宅履歴情報活用部会 点検内容・診断基準を記した維持保全計画書の作成、「住宅のお手入れマニュアル」の作成をする 研修部会 施工現場勉強会、座談会勉強会、地域型長期優良住宅の仕様説明会、長期優良住宅・設計性能評価研修会の開催 事務局 「すまい手相談窓口」の設置、完成住宅に「たじまだら家(Ke)」認定書の発行、各提出書類の保管、 瑕疵が発生した場合の対応の手引きの作成、補助金の受け渡しに関する証明書の作成、 勉強会・研修会の参加状況の管理、受講証の発行をする 運営委員会は、各部会の進捗状況を把握や各部会の調整し、事務局に報告する。事務局は理事会に報告する。		

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

※) グループの取組に関する補足説明は、様式3-3の「その他」の欄に記載してください。

グループ構成員の追加申請

グループ番号	03-0477-0359	グループ名称	但馬木造住宅振興協議会
--------	--------------	--------	-------------

追加構成員リスト

注6 注7

県番号	No	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	被災地	補助金活用実績	平成24年(1月~12月)実績	
									地域材(丸太)供給量(m ³)	
I. 原木供給									地域材(丸太)供給量(m ³)	
28	I-9	株式会社山崎木材市場		671-2533	兵庫県山崎町須賀沢998	0790621008			60,000 m ³	
	I-								m ³	
	I-								m ³	
	I-								m ³	
	I-								m ³	
II. 製材・集成材製造・合板製造									生産量	
28	II-3	株式会社オーケンウッド		669-3404	兵庫県春日町牛河内325-1	0795740052			10,500 m ³	6,000 m ³
28	II-4	有限会社丸正木材		671-4144	兵庫県一宮町下野田580-1	0790720132			9,000 m ³	8,000 m ³
	II-								m ³	m ³
	II-								m ³	m ³
	II-								m ³	m ³
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)									木材供給量	
	III-								m ³	m ³
	III-								m ³	m ³
	III-								m ³	m ³
	III-								m ³	m ³
	III-								m ³	m ³
IV. プレカット									プレカット戸数	
28	IV-3	株式会社南商店		652-0882	神戸市兵庫区芦原通2-1-14	0786522678			3,840 戸	336 戸
28	IV-4	朝来ハウジング株式会社		679-3403	朝来市立脇178	0796781111			84 戸	5 戸
	IV-								戸	戸
	IV-								戸	戸
	IV-								戸	戸
V. 設計									木造住宅設計戸数	
	V-								戸	戸
	V-								戸	戸
	V-								戸	戸
	V-								戸	戸
	V-								戸	戸
VI. 施工									元請の新築住宅供給戸数	
	VI-								戸	戸
	VI-								戸	戸
	VI-								戸	戸
	VI-								戸	戸
	VI-								戸	戸
VII. 木材を扱わない流通									うち長期優良住宅	
	VII-								戸	戸
	VII-								戸	戸
	VII-								戸	戸
	VII-								戸	戸
VIII. その他()									うち長期優良住宅	
	VIII-								戸	戸
	VIII-								戸	戸
	VIII-								戸	戸
	VIII-								戸	戸

■記載上の注意

- 注1) グループNoの欄は、「平成25年度地域型住宅ブランド化事業に関するグループの採択の結果について(採択通知)別紙」記載のグループ番号を記入してください。(例:03-0XXX-0\$\$\$)
- 注2) 事業者名、代表者名、郵便番号、所在地、電話番号は、「様式2-3確認念書」に記載の内容を正確に転記してください。
- 注3) 県番号の欄は、「県番号」のシートを参照して入力してください。
- 注4) 郵便番号は、半角文字で、ハイフオン付きで入力してください。(例:000-0000)
- 注5) 電話番号は、半角文字でハイフオンやかっこを入れずに入力してください。(例:00000000000)
- 注6) 「被災地」の欄については、「VI施工」の事業者について、主たる事業所(本店)が、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく「特定被災区域」に存する場合、○を付けて下さい。参照:内閣府HP(<http://www.bousai.go.jp/2011jyousei-tokutei.html>)
- 注7) 「補助金活用実績」の欄については、「VI施工」の事業者について、過去に、地域型住宅ブランド化事業や木のいえ整備促進事業等、長期優良住宅の整備に対する補助を受けたことがある場合は○を付けてください。なお、平成24年度地域型住宅ブランド化事業については、補助金の交付はまだなされていなくても、補助金交付決定が下りている事業者については、○を付けてください。
- 注8) 構成員は本社を登録してください。すなわち、所在地は本社の情報、実績は支社や営業所等を含む会社全体の実績を記入してください。また、「直近3年平均」とは平成22年から24年の3カ年における1年当たりの平均を記載して下さい。
- 注9) 複数の業者がある場合、業種(I、II...)毎に、平成24年(1月~12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。
- 注10) I~VII以外の業種の構成員がある場合は、VIIIその他に記載してください。()内に業種名を記入ください。
- 注11) 行が不足する場合は、行末に追加して下さい。
- 注12) この用紙の大きさは、日本工業規格A4としてください。